

開設講座名	【選択必修】 イマドキの子どもをどう見るか!?	担当講師	吉岡 一志		
講習会場	山口県立大学(北キャンパス) 3号館 C311 教室	会場所在地	山口市桜島 6-2-1		
開設日	令和3年8月17日(火)	時間数	6時間	受講定員	44人
募集期間	令和3年5月16日~5月30日	履修認定時期	令和3年9月30日まで		
履修認定対象職種	教諭 養護教諭 栄養教諭	主な受講対象者	全教員		
受講料等総額	6,000円	うち受講料以外の経費	0円		

【到達目標】

- ①多様な視点で子どもを捉えることができる
- ②自らの見方とは異なる見方を取り入れる方法を身につける
- ③多様な観点から問題への解決策を提案することができる

【講習の概要】

この講座は、学校を巡る様々な教育問題を題材にして、子どもや子どもたちの問題を見る視点を養うことを目的としています。現代社会は著しい変化のなかにあり、こうした社会で生きる子どもたちの問題は、いじめ、貧困、学力低下など一層複雑化しています。子どもの問題に対する一律の解決策も見出しにくく、個別に対応が迫られるなか、私たちはいかに問題を理解し、解決に向かうことができるのかを模索していきます。

- ①子どもを見るⅠ～学力問題は誰のせい? : 統計の見方と貧困への視座
- ②子どもを見るⅡ～いじめってなんなの? : つくられた問題への視座
- ③子どもを見るⅢ～イマドキの子どもって? : わからない子どもへの視座
- ④子どもを見る私～私って間違ってる? : 物語論からのアプローチ
- ⑤私とあなたを見る～子どもとどうかかわる? : 理論の実践(ワークショップ)
- ⑥筆記試験

【評価の方法・評価基準】

評価の方法：筆記試験を行います。

- ・合格：「到達目標」を満たしている
- ・不合格：「到達目標」を著しく満たしていない

【テキスト・参考資料】

講義ではハンドアウトを配布し、パワーポイントで進めます。講義の最後に参考文献を紹介する予定です。

【受講者への伝達事項】

頭と体を使って、様々なものの見方に触れていただき、日々の業務に役立てていただければうれしく思います。